

I 原著論文(学会誌・学術論文)

SN	著者	題	雑誌	vol	No.	pp	年	月
1	川越 厚, 佐藤智	在宅死した癌患者の剖検所見 その臨床的意義 The Autopsy Findings of Cancer Patients who Died at	日本癌治療学会誌	28	3	619-625	1993	3
2	川越 厚	肺癌患者の在宅ホスピスケア	日本癌治療学会誌	30	4	636-646	1995	
3	川越 厚	在宅ホスピスにおける死の教育	カリキュラム研究		4	29-42	1995	3
4	川越 厚	末期がん在宅ケアにおける消化管閉塞への対処	緩和医療	4	2	11-12	1995	
5	川越 厚	医療技術の進歩と在宅医療	第34回人工臓器学会大会 予稿集	125	s-17		1996	
6	難波寿子, 松岡 恵, 川 越 厚	母親が新生児が泣く理由を判断する要因の経日的変化	母性衛生	38	4	382-388	1997	12
7	川越 厚	在宅ホスピスケアとチーム医療-薬剤師の役割	日本薬剤師会雑誌	51	4	111-117	1999	4
8	川越 厚	出産をめぐる診療システム-産科医の立場から-	東京母性衛生学会誌	15	1	28-30	1999	3
9	川越 厚	ターミナルケア医療	日本産科婦人科学会雑誌	51	9	219-222	1999	9
10	Kawagoe, H. and Kawagoe, K.	Death Education in Home Hospice Care in Japan.	J Palliat Care	16	3	37-45	2000	
11	川越 厚, 松浦志のぶ, 遠藤美由紀	在宅末期がん患者の疼痛緩和-フェンタニルパッチの有用性-	日本プライマリ・ケア学会誌	27	3	165-171	2004	9
12	川越 厚	豊かな生を支えたもの-「場」別に遺族の報告を聴く-	死の臨床	27	1	24-25	2004	9
13	野村恭子, 矢野栄二, 三丸剛人, 川越厚	医学教育における在宅終末期医療実習	医学教育	36	4	243-247	2005	8
14	伊藤美緒子, 松浦志の ぶ, 川越厚	事例検討「ひとり暮らしでも家で過ごしたい-独居の肺がん患者の 在宅ホスピスケア-	死の臨床	29	2	171	2006	
15	石川ひろの・柏木聖 代・福井小紀子・松浦 志のぶ・川越 厚	在宅がん末期患者のケアにおける訪問看護師と医師との連携に関 する研究	日本プライマリ・ケア学会誌	30	3	242-247	2007	9
16	川越 厚	在宅での看取り-末期がん患者の在宅ホスピスケア-	癌と化学療法	34		251-253	2007	12
17	Hirono Ishikawa , Koh Kawagoe , Masayo Kashiwagi,	Nurse-Physician Collaboration in Pain Management for Terminally Ill Cancer Patients Treated at Home in Japan	Journal of Palliative Care	23	4	255-261	2007	
18	川越 厚, 松浦志のぶ, 染谷康子, 大金ひろみ	ケア期間からみた在宅ホスピスケアの問題-短期間(7日間)で終 了する末期がん患者の在宅ケア-	癌と化学療法	35	Suppl I	16-18	2008	12
19	川越 厚, 松浦志のぶ	モルヒネ持続クモ膜下注入による疼痛緩和-在宅で疼痛緩和を 行った症例の報告-	癌と化学療法	35	Suppl I	88-90	2008	12

I 原著論文 (学会誌・学術論文)

SN	著者	題	雑誌	vol	No.	pp	年	月
20	松浦志のぶ、川越博美、川越 厚	肺癌患者の在宅ホスピス緩和ケア	癌と化学療法	36	Suppl I	81-83	2009	6
21	Izumi Kawagoe, Mioko Ito, Shinobu Matsuura, Koh Kawagoe	Home Hospice Care for the Lung Cancer Patient Living Alone: A case report from Japan	Journal of Palliative Care	25	4	289-293	2009	12
22	川越 厚	在宅での疼痛緩和の現状と課題	癌と化学療法	36	Suppl I	1-4	2009	12
23	川越 厚	在宅医療と薬局薬剤師の連携の在り方	日本薬剤師会雑誌	62	3	329-331	2010	3
24	川越 厚、松浦志のぶ	血液がん患者の在宅ホスピス緩和ケア	癌と化学療法	37	Suppl I	249-252	2010	12
25	Hachizuka M, Yoshiuchi K, Yamamoto Y, Iwase S, Nakagawa K, Kawagoe K, Akabayashi A	Development of a personal digital assistant (PDA) system to collect symptom information from home hospice patients	Journal of Palliative Medicine	13	4	647-651	2010	
26	川越 厚、松浦志のぶ、西田茂史	婦人科がん患者の在宅ホスピス緩和ケア	癌と化学療法	38	Suppl I	70-72	2011	12
27	西田茂史、松浦志のぶ、川越 厚	泌尿器科がん患者の在宅ホスピス緩和ケア	癌と化学療法	38	Suppl I	73-75	2011	12
28	川越 厚	在宅緩和ケアに必要なチームアプローチ	東京都医師会雑誌	64	7	12・25-29	2011	8
29	廣岡佳代、渡邊美也子、川越 厚	在宅ホスピスケアにおける統合失調症を有する家族への支援	癌と化学療法	40	8	1123-1126	2013	8
30	川越 厚	在宅緩和ケアの推進と課題「地域緩和ケアにおける薬剤師の役割」	社会薬学	32	Suppl.	51	2013	10

2原著(学会誌・学術論文以外)

SN	著者	題	シリーズ名	誌名	vol	No.	pp	出版社	年	月
1	川越 厚	死の近辺		CLINICIAN		437	39-42	エーザイ株式会社	1995	
2	川越 厚	大往生1	往診の道すがら13			1	39	オニオン	1995	1
3	川越 厚	S君への年賀状	キ医連への年賀状	医学と福音		1	2-3	日本キリスト者医科連	1995	1
4	川越 厚	いのちを告げるとき	第14回信徒の友セミナー再録	信徒の友				日本キリスト教団出版局	1994	8
5	川越 厚	日本における在宅医療の現況と展望	座談会	癌患者と対処療	6	1	6-17	メディカルレビュー社	1995	
6	川越 厚	癌の在宅医療		癌患者と対処療	6	1	19-22	メディカルレビュー社	1995	
7	川越 厚	進行癌治療における基本姿勢		産科と婦人科	62	2	153-157	診断と治療社	1995	2
8	川越 厚	大往生2	往診の道すがら14			2	39	オニオン	1995	2
9	川越 厚	看取りの舞台裏1	往診の道すがら15			3	39	オニオン	1995	3
10	川越 厚	看取りの舞台裏2	往診の道すがら16			4	39	オニオン	1995	4
11	川越 厚	がん患者のターミナルケア		産婦人科治療	70	4	380-383	永井書店	1995	4
12	川越 厚	看取りの舞台裏3	往診の道すがら17		16		39	オニオン	1995	5
13	川越 厚	経管栄養1	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1995	4
14	川越 厚	経管栄養2	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1995	5
15	川越 厚	終末期医療によせて-病院での終末期医療の問題-		臨床看護	21	5	684-687	へるす出版	1995	5
16	川越 厚	終末期医療によせて-ホスピスケア-		臨床看護	21	7	1113-1116	へるす出版	1995	7
17	川越 厚	ある卵巣がん患者	往診の道すがら18			6	39	オニオン	1995	6
18	川越 厚	経管栄養3	生と死を考える	こころの友		6	3	日本基督教団出版局	1995	6
19	川越 厚	老いを担う	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1995	7
20	川越 厚	がんと言われたとき	がんとつきあう	今日の健康		7	66-69	NHK出版	1995	6
21	川越 厚	若き妻の死		医学と福音		449	1	日本キリスト者医科連	1995	6
22	川越 厚	卵巣がん患者 輸血をめぐる	往診の道すがら19				39	オニオン	1995	7
23	川越 厚	ホスピスケアの概念と歴史	老人ホームにおけるターミナルケアのあり方を探る	月刊「老施協」			11-16	全国老人福祉施設協議会	1995	7
24	川越 厚	ホスピスケアの内容	老人ホームにおけるターミナルケアのあり方を探る	月刊「老施協」			16-21	全国老人福祉施設協議会	1995	8
25	川越 厚	事例および質問から考えるホスピスケアのあり方	老人ホームにおけるターミナルケアのあり方を探る	月刊「老施協」			14-18	全国老人福祉施設協議会	1995	9
26	川越 厚	卵巣がん患者 鮮血が出たとき	往診の道すがら20				39	オニオン	1995	8
27	川越 厚	極楽とんぼ、飛翔す		クリニカルスタディ	16	9-852	68-69	メヂカルフレンド社	1995	8
28	川越 厚	末期がん患者1	生と死を考える	こころの友		8	3	日本基督教団出版局	1995	8
29	川越 厚	延命治療に思う		医学と福音	47	500	1	日本キリスト者医科連	1995	7
30	川越 厚	末期がん患者2	生と死を考える	こころの友				日本基督教団出版局	1995	9

2原著(学会誌・学術論文以外)

SN	著者	題	シリーズ名	誌名	vol	No.	pp	出版社	年	月
31	川越 厚	卵巣がん患者 最後の家族旅行	往診の道すがら21				39	オニオン	1995	9
32	川越 厚	魂の痛み		医学と福音		451	1	日本キリスト者医科連	1995	8
33	川越 厚	魂の痛みのケア		医学と福音		452	1	日本キリスト者医科連	1995	
34	川越 厚	末期がん患者3	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1995	10
35	川越 厚	卵巣がん患者 ご臨終のとき	往診の道すがら22				39	オニオン	1995	10
36	川越 厚	末期がん患者4	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1995	11
37	川越 厚	夫婦の絆 1通の手紙	往診の道すがら23				39	オニオン	1995	11
38	川越 厚	夫婦の絆 不安の前兆	往診の道すがら24				39	オニオン	1995	12
39	川越 厚	いのちの誕生	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1995	12
40	川越 厚	夫婦の絆 深まり不安	往診の道すがら25				39	オニオン	1996	1
41	川越 厚	末期がん患者5 ソーシャルペイン	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1996	1
42	川越 厚	夫婦の絆 最愛の妻を失う	往診の道すがら26				39	オニオン	1996	2
43	川越 厚	末期がん患者6 たましいの痛み-1	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1996	2
44	川越 厚	末期がん患者7 たましいの痛み-2	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1996	3
45	川越 厚	末期がん患者8 たましいの痛み-3	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1996	4
46	川越 厚	在宅における薬物	末期がん患者の疼痛緩和 私の処方とその解説	今月の治療	4	4	45-48	総合医学社	1996	
47	川越 厚	末期がん患者9 たましいの痛み-4	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1996	5
48	川越 厚	末期がん患者10 たましいの痛み-5	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1996	6
49	川越 厚	末期がん患者11 たましいの痛み-6	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1996	7
50	川越 厚	末期がん患者12 たましいの痛み-7	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1996	8
51	川越 厚	死の受けとめかた	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1996	9
52	川越 厚	老いへの準備	考える	ケア・トピックス		6	1-2		1996	9
53	川越 厚	病む人を理解するには	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1996	10
54	川越 厚	在宅ケアの普及にはまず医師が現場を踏むこと	メッセージ	Medical Salon				昭和薬品株式会社	1996	10
55	川越 厚	生きる力	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1996	11
56	川越 厚	胎内の子がおどった	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1996	12
57	川越 厚	がん患者のQ&A		臨牀看護臨時増刊号	22	13	2026-2034	へるす出版	1996	
58	川越 厚	助産婦が助産婦らしい仕事をするには- 医師の立場から-		助産婦教育研究会 ニュース		47		助産婦教育研究会	1996	12
59	川越 厚	出産 家族も一緒に「入院」		婦人之友			148-153	婦人之友社	1997	1
60	川越 厚	死すからこそ1 お母さんに会いたい	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1997	1
61	川越 厚	死すからこそ2 記念すべき日	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1997	2
62	川越 厚	高齢者を家で看取ること~在宅ホスピス ケアの考え方~		月刊福祉		2	32-37	全国社会福祉協議会	1997	2

2原著(学会誌・学術論文以外)

SN	著者	題	シリーズ名	誌名	vol	No.	pp	出版社	年	月
63	川越 厚	死すからこそ3 生まれてきてよかったかしら?	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1997	3
64	川越 厚	死すからこそ4 つかお別れするんだね	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1997	4
65	川越 厚	死すからこそ5 あるがままを	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1997	5
66	川越 厚	死すからこそ6 やっと管なしで	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1997	6
67	川越 厚	共に喜ぶ	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1997	7
68	川越 厚	計り知れない不安	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1997	8
69	川越 厚	在宅でのホスピスケア		医学と福音	49	2	22-23	日本キリスト者医科連		
70	相澤智恵子, 田口友子, 島美奈子, 川越厚	賛育会病院の開業助産婦支援システム	変わります. 変えます. 地域母子保健(下)	助産婦雑誌	51	11	931-936	医学書院	1997	11
71	川越 厚	がんと告げられた患者さんへ-2	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1997	9
72	川越 厚	がんと告げられた患者さんへ-3 若き夫の悩み	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1997	10
73	川越 厚	がんと告げられた患者さんへ-4 告げられたものの苦悩	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1997	11
74	川越 厚	がんと告げられた患者さんへ-5 子供への説明	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1997	12
75	川越 厚	がんと告げられた患者さんへ-6 それか	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1998	1
76	川越 厚	がんと告げられた患者さんへ-7 ストレートに本人に告げると	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1998	2
77	川越 厚	家で死ぬことの意味		教育と医学	46	2	12-21	慶應義塾大学出版会	1998	2
78	川越 厚	がんと告げられた患者さんへ-8 真実を告げることの難しさ-1	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1998	3
79	川越 厚	がんと告げられた患者さんへ-9 真実を告げることの難しさ-2	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1998	4
80	川越 厚	老いて白髪になっても-1	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1998	5
81	川越 厚	老いて白髪になっても-2	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1998	6
82	川越 厚	老いて白髪になっても-3	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1998	7
83	川越 厚	老いて白髪になっても-4	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1998	8
84	川越 厚	老いて白髪になっても-5	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1998	9
85	川越 厚	心に残る患者さん-1	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1998	10
86	川越 厚	心に残る患者さん-2	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1998	11
87	川越 厚	聖霊によって宿る	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1998	12
88	川越 厚	痛みの意味	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1999	1

2原著(学会誌・学術論文以外)

SN	著者	題	シリーズ名	誌名	vol	No.	pp	出版社	年	月
89	川越 厚	みずから命を絶ったひと	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1999	2
90	川越 厚	いのちを委ねる	生と死を考える	こころの友			3	日本基督教団出版局	1999	3
91	川越 厚	末期癌在宅ケアの実際	Palliative Medicineを日常診療に活用しよう 第9回	Journal of Integrated medicine	4	7	648-649	医学書院	1994	7
92	川越 厚	医療チームをどう組み立てるか	がん患者のこころのケア	CLINICAN		477	35-38	エーザイ株式会社	1999	
93	川越 厚	スピリチュアルケア	KEY WORD	緩和医療	1	2	124-125	先端医学社	1999	
94	川越 厚	病院改革・病院構築への取り組みーその経緯を見つめてー		婦長主任新事情	4	68	4-11	産労総合研究所	1999	2
95	川越 厚	在宅医療におけるチーム医療のあり方	癌性疼痛管理をめぐるチーム医療	癌患者と対処療法	10		56-60	メディカルレビュー社	1999	4
96	川越 厚	在宅末期癌患者の疼痛管理とチーム医療		Physicians' Therapy Manual	10	6	6	日本メディス株式会社	1999	4
97	川越 厚	在宅医療とはなにか	[徹底分析シリーズ]在宅医療I	LiSA	6	6	536-537	メディカル・サイエンス・インターナショナル	1999	6
98	川越 厚	在宅ホスピスケア	TOPICS	臨床医	26	2	80-81	中外医学社	2000	2
99	川越 厚	ターミナルケア医療	今日の問題	産婦人科治療	80	4	403-434	永井書店	2000	4
100	川越 厚	在宅ホスピス医療の現状	介護保険時代の在宅医療	日本医事新報		3963	12-16	日本医事新報社		
101	川越 厚	在宅ホスピス(Home Hospice)とは	在宅ホスピスケアの問題点	在宅医療	35		8-13	(株)日本中央医学会	2001	10
102	川越 厚	在宅ホスピスケア専門チーム(グループ・パリアン)による在宅ホスピスケアの実際	在宅緩和ケアの実際	臨床看護	27	11	1637-1643	へるす出版	2001	10
103	川越 厚	在宅緩和ケア(ホスピスケア)の基準と現状	在宅緩和ケアの実際	臨床看護	27	11	1603-1607	へるす出版	2001	10
104	川越 厚	家で本当に最後まで過ごせるのですか?ー試験外泊をめぐるのお願いとアドバイスー	仲間[活動紹介]	加仁	29		51-53	がん研究振興財団	2002	
105	川越 厚	【在宅ホスピスケア 整いつつある支援体制】在宅ホスピスケアの普及を願って		治療学	36	3	221-223	ライフサイエンス出版	2002	3
106	川越 厚	末期癌患者に対する在宅医療ー専門医に知っておいてほしいこと	座談会 在宅ホスピスケア	治療学	36	3	285-297	ライフサイエンス出版	2002	3
107	川越 厚	治療の歴史 わが国における在宅ホスピスケア		治療学	36	3	307-312	ライフサイエンス出版	2002	3
108	川越 厚	在宅ホスピスケアを可能にする条件		コミュニティケア	4	8	22-23	日本看護協会出版会	2002	8

2原著(学会誌・学術論文以外)

SN	著者	題	シリーズ名	誌名	vol	No.	pp	出版社	年	月
109	川越 厚	がん患者のターミナルケア 末期がん患者の在宅での症状緩和		保健の科学	44	12	933-937	杏林書院	2002	12
110	川越 厚、 松浦志の ぶ、川越牧 子	在宅ホスピス相談外来の実態と役割-相談外来受診者の転帰から-		ターミナルケア	13		494-498	三輪書店	2003	
111	川越 厚	新しい麻薬の在宅での使用法-フェンタニルパッチは在宅での疼痛緩和をどう変えたか-		Cancer Pain フォーラム	2	4	6-8	日本医学館	2003	10
112	川越 厚	開業医は検討会で"何を感じ、何を考えたか"	提言-検討会報告書-私は こう考える	看護11月臨時 増刊号			52-55	日本看護協会出版会	2003	11
113	川越 厚	在宅ホスピス・緩和ケアの最近の動向	特別セミナー	すくえあ		496	8-11	全国社会保険協会連	2004	2
114	川越 厚	治療法 在宅ホスピス・緩和ケア-わが国の最近の動向	サイコオンコロジーの現状と 展望	臨床精神医学	33	5	615-620	アークメディア	2004	
115	川越 厚	在宅末期がん患者に対するフェンタニルパッチの使用経験		緩和医療学	6	1	43-50	先端医学社	2004	
116	川越 厚	がん性疼痛処方を読み方、とらえ方	処方の教室	Rp.【レシピ】	4	2	13-26	南山堂	2005	4
117	川越 厚	オピオイドの普及により充実してきた在宅緩和ケア	疼痛緩和の最前線	オピオイドによる 疼痛緩和		11	1	三共株式会社	2005	5
118	川越 厚	乳がん患者の在宅ホスピス・緩和ケア	特集:再発した乳がん患者 へのケア	臨床看護	31	7	1042- 1047	へるす出版	2005	6
119	川越 厚	「パリアン」とは 患者自らが創りだす死を支えるために	今日あるいのちを支える在 宅ホスピスケア ①	信徒の友				日本基督教団出版局	2006	4
120	川越 厚	在宅ホスピス普及の歴史とあらたな展望	今日あるいのちを支える在 宅ホスピスケア ⑦	信徒の友				日本基督教団出版局	2006	10
121	川越 厚	さまよえる末期がん患者 相談外来の経験から	今日あるいのちを支える在 宅ホスピスケア ⑪	信徒の友				日本基督教団出版局	2007	2
122	川越 厚	忘れられない患者さんたち いたらない点を教えてくださいました方々	今日あるいのちを支える在 宅ホスピスケア ⑫	信徒の友				日本基督教団出版局	2007	3
123	川越 厚	麻薬管理マニュアルの改訂について	解説	緩和ケア	17	1	53-57	青海社	2007	1
124	川越 厚	医療用麻薬と緩和ケア なぜ家なのか~痛みが緩和された末期がん患者の「生」		厚生労働	62	2	14-17	(株)日本医療企画	2007	2
125	川越 厚	在宅ホスピス・緩和ケアと在宅療養支援診療所① -在宅療養支援診療所新設の意義	解説	緩和ケア	17	2	143-147	青海社	2007	3

2原著(学会誌・学術論文以外)

SN	著者	題	シリーズ名	誌名	vol	No.	pp	出版社	年	月
126	川越 厚	在宅ホスピス・緩和ケアと在宅療養支援診療所② ーホームケアクリニック川越の場合	解説	緩和ケア	17	3	241-245	青海社	2007	5
127	川越 厚	末期がん患者の在宅ケアと関連した介護報酬改訂 ー療養通所介護と特定疾病追加に関して	解説	緩和ケア	17	4	P339-343	青海社	2007	7
128	川越 厚	使いやすくなった医療用麻薬・・・麻薬管理マニュアル改訂のポイント	解説	在宅緩和ケア ねっと		2	p14	青海社	2007	9
129	川越 厚	協働する看護師へ 訪問看護に携わる仲間へ贈るエール		インターナショナル ナーシング レビュー	30	3	120-121	日本看護協会出版会	2007	臨時増刊号
130	川越 厚	1.医師と看護師の連携と、指示のありかた	在宅末期がん患者に対する医療行為	訪問看護と介護	13	1	46-49	医学書院	2008	1
131	川越 厚	2.疼痛緩和に関する事前約束指示	在宅末期がん患者に対する医療行為	訪問看護と介護	13	2	128-131	医学書院	2008	2
132	川越 厚	3.死亡診断に関する事前約束指示	在宅末期がん患者に対する医療行為	訪問看護と介護	13	3	222-226	医学書院	2008	3
133	川越 厚	緩和ケア診療所を中心とした、地域連携ネットワークシステムの構築(1)ー問題の背景		緩和ケア	19	3	272-277	青海社	2009	5
134	川越 厚	緩和ケア診療所(Palliative care clinic; PCC)を中心とした、地域連携ネットワークシステムの構築(2)		緩和ケア	19	4	380-383	青海社	2009	7
135	川越 厚	緩和ケア診療所を中心とした、地域連携ネットワークシステムの構築(3)ーPCCを中心としたネットワークシステム		緩和ケア	19	5	475-481	青海社	2009	9
136	川越 厚	山本知子(泰)先生の思い出～「東京支部ニュース」50号記念寄稿		広島女学院同窓会東京支部 ニュース	50		4-5	東京支部役員会	2009	6
137	川越 厚	続編女学院の思い出～「東京支部ニュース」50号記念寄稿		広島女学院同窓会東京支部 ニュース	51		4-5	東京支部役員会	2009	10
138	川越 厚	在宅ホスピス・パリアンのはたらき 特集:保健医療福祉領域の社会企業家のはたらき		保健の科学	51		743-748	杏林書院	2009	11

2原著(学会誌・学術論文以外)

SN	著者	題	シリーズ名	誌名	vol	No.	pp	出版社	年	月
139	川越 厚	在宅での疼痛緩和の現状と課題		メディカル朝日	38	11	36-37	朝日新聞社	2009	11
140	川越 厚	信頼の絆	在宅ホスピスの現場から	暮しと健康			68-69	保健同人社	2010	4
141	川越 厚	信頼の絆2	在宅ホスピスの現場から	暮しと健康			68-69	保健同人社	2010	5
142	川越 厚	お坊さんも人の子	在宅ホスピスの現場から	暮しと健康			68-69	保健同人社	2010	6
143	川越 厚	消えた「がんマン」	在宅ホスピスの現場から	暮しと健康			68-69	保健同人社	2010	7
144	川越 厚	緩和休題	在宅ホスピスの現場から	暮しと健康			68-69	保健同人社	2010	8
145	川越 厚	患者さんに教わるホスピスケア	在宅ホスピスの現場から	暮しと健康			68-69	保健同人社	2010	9
146	川越 厚	運転したいから、モルヒネはいや	在宅ホスピスの現場から	暮しと健康			68-69	保健同人社	2010	10
147	川越 厚	医師の役割(コメント)	親の病気を子どもにどう伝えるか 大切な人をなくす子どもへのケア	ナース専科	30	10	56-59	株式会社エス・エム・エス	2010	10
148	川越 厚	抱きしめる	在宅ホスピスの現場から	暮しと健康			68-69	保健同人社	2010	11
149	川越 厚	死のプロセスを知ることによって「家」での看取りはできる		暮しと健康			28-35	保健同人社	2010	12
150	川越 厚	ペットは死に逝く者を慰める?	在宅ホスピスの現場から	暮しと健康			68-69	保健同人社	2010	12
151	川越 厚	最期のことば	在宅ホスピスの現場から	暮しと健康			68-69	保健同人社	2011	1
152	川越 厚	断ち切った、心の扉のドアチェーン	在宅ホスピスの現場から	暮しと健康			68-69	保健同人社	2011	2
153	川越 厚	【解説記事】在宅緩和ケアを支える「事前約束指示」 その作り方・使い方	”はじめて”の在宅緩和ケア「実践編」	訪問看護と介護	16	2	116-119	医学書院	2011	2
154	川越 厚	彷徨う霊とホスピスケア	在宅ホスピスの現場から 最終回	暮しと健康			68-69	保健同人社	2011	3
155	川越 厚	第1回これまでの取り組みと問題の背景	在宅ホスピス緩和ケアにおけるチームアプローチ	緩和ケア	21	6	636-639	青海社	2011	11
156	川越 厚	第2回チームアプローチの形と在宅緩和ケア	在宅ホスピス緩和ケアにおけるチームアプローチ	緩和ケア	22	1	69-72	青海社	2012	1
157	川越 厚	第3回在宅緩和ケアチームアプローチを行う場合に重要な視点(1)	在宅ホスピス緩和ケアにおけるチームアプローチ	緩和ケア	22	2	176-179	青海社	2012	3
158	川越 厚	第4回在宅緩和ケアチームアプローチを行う場合に重要な視点(2) -チーム対応のスピード性(いわゆる在宅緩和ケアにおけるtime lagの問題)	在宅ホスピス緩和ケアにおけるチームアプローチ	緩和ケア	22	3	282-286	青海社	2012	5

2原著(学会誌・学術論文以外)

SN	著者	題	シリーズ名	誌名	vol	No.	pp	出版社	年	月
159	川越 厚	第5回 在宅緩和ケアチームアプローチを行う場合に重要な視点(3)-チームの効率性 (efficiency)	在宅ホスピス緩和ケアにおけるチームアプローチ	緩和ケア	22	4	350-352	青海社	2012	7
160	川越 厚	最終回今後の課題 -緩和ケア専門診療所を中心としたネットワークの必要性	在宅ホスピス緩和ケアにおけるチームアプローチ	緩和ケア	22	5	448-451	青海社	2012	9
161	川越 厚	【がん患者の地域連携と在宅緩和ケア】診療所の視点から	これだけは知っておきたい-婦人科がんの緩和ケア	臨床婦人科産科	66	13	1236-1241	医学書院	2012	12
162	川越 厚	"家で死ねる街づくり"をめざして-在宅ホスピスの現状と課題(1) 在宅ホスピス・パリアンの働き	地域における緩和ケア(在宅緩和ケア)	保健の科学	55	4	246-253	杏林書院	2013	4
163	川越 厚、 山川加奈子、 宇野みどり、 山崎美恵	【多職種座談会】患者・家族の"潜在力"を引き出す「在宅緩和ケアチーム」とはそして、チームにおける訪問看護師の役割は?	特集「緩和ケア訪問看護師」の"実践力"を育てる	訪問看護と介護	18	7	556-565	医学書院	2013	7
164	川越 厚	在宅ホスピス医として 治療病院との連携	特集:最後までよい人生を支えるには-多死時代の終末期医療	内科	112	6	1271-1275	南江堂	2013	12
165	川越 厚	「死んだ妻に会った」と語る患者・家族たち-看取り現場の"不思議"な話(上) 問われている私たちの死生観-看取りの現場の"不思議"な話(下)		CB news management				株式会社CBNews	2016	1
166	川越 厚	変えることができないもの 変えなければならぬもの 老いと死を支える知恵と力	特集:大介護時代を生き抜く がんばらないで助け合う	信徒の友	信徒の友		14-17	日本基督教団出版局	2016	6
167	川越 厚	在宅緩和ケアの現状と課題	在宅緩和ケアの現状と課題	Progress in Medicine	36	10	83-91	(株)ライフ・サイエンス	2016	10
168	川越 厚	「ひとり、家で穏やかに死ぬ方法」紹介文		NPO法人高齢社会をよくする女性の会会報		250	7	NPO法人高齢社会をよくする女性の会	2016	11
169	川越 厚	ひとり身は明日のわが身	きずなカフェ	NPO法人きずなの会東京ホームページ				NPO法人きずなの会	2016	12
170	川越 厚	日本人の"死の受容"の文化論的考察	私の死生学・死生観-医療者から医療者へ、そして患者から患者さんとともに<第39回>	新薬と臨牀	65	12	69-72	医薬情報研究所	2016	
171	川越 厚	余命を伝え、「あるがままのいのち」を支える		Astellas Square	13	75	12-13	アステラス製薬	2017	4
172	川越 厚	広島時代の日野原重明先生	エッセイ	日本医事新報		4870	68-69	日本医事新報社	2017	8

2原著(学会誌・学術論文以外)

SN	著者	題	シリーズ名	誌名	vol	No.	pp	出版社	年	月
173	川越 厚	終末期患者の療養の場の選択に関する意思決定支援	医療の場におけるチームで取り組む意思決定支援	保健の科学	62	5	321-328	杏林書院	2020	5
174	川越 厚	ひとの研究計画を評価すること	リレー随想	ヘルスリサーチ ニュース	76		1	ファイザーヘルスリサーチ振興財団	2021	1
175	川越 厚	臨床医に『研究』は必要ないか?	ECHO(エコー)	WAM		676	1	独立行政法人福祉医療機構	2021	4
176	川越 厚	標準的在宅緩和医療・がん診療 希望を点の星につなげよ Hitch Your Wagon to a Star	標準的在宅医療:在宅医療の担い手を育てる	月刊地域医学	35	4	328-333	公益社団法人 地域医療振興協会	2021	4
177	川越 厚	”まぼろし”に神の霊を見た重明先生	日野原先生の精神(こころ)を継ぐ	「新老人の会」東京 会報	2	3	1	日野原重明記念「新老人の会」東京	2020	8
178	川越 厚	父・善輔先生の影響	日野原先生の精神(こころ)を継ぐ	「新老人の会」東京 会報	2	4	2	日野原重明記念「新老人の会」東京	2020	11
179	川越 厚	Visionの意味	日野原先生の精神(こころ)を継ぐ	「新老人の会」東京 会報	3	1	2	日野原重明記念「新老人の会」東京	2021	1
180	川越 厚	受け入れられなかったVision	日野原先生の精神(こころ)を継ぐ	「新老人の会」東京 会報	3	2	2	日野原重明記念「新老人の会」東京	2021	4
181	川越 厚	死との遭遇	日野原先生の精神(こころ)を継ぐ	「新老人の会」東京 会報	3	3	2	日野原重明記念「新老人の会」東京	2021	7
182	川越 厚	変わらないもの、変えるべきもの	日野原先生の精神(こころ)を継ぐ	「新老人の会」東京 会報	3	4	2	日野原重明記念「新老人の会」東京	2021	10
183	川越 厚	ホスピス医の危惧	日野原先生の精神(こころ)を継ぐ	「新老人の会」東京 会報	4	1	2	日野原重明記念「新老人の会」東京	2022	1

3 単行本

SN	書名	執筆題名	著者	編者・監修	pp	出版社	出版年
1	看護大辞典		川越 厚 他	沖中重雄 監修		メヂカルフレンド社	1978
2	産婦人科MOOK No.19 着床	脱落膜の組織化学	川越 厚、坂本 正一		168-179	金原出版	1982
3	臨床老年医学体系 11巻 婦人・腎・尿路	老年夫人の性器解剖学 老年夫人の心身症と性生活	川越 厚		18-28 219-229	情報開発研究所	1984
4	家庭医学大辞典		川越 厚 他	柳下徳雄、岡島重孝、服部光男		小学館	1987
5	プリンシプル婦人科学	絨毛性疾患	川越 厚	坂本正一、水野正彦	505-545	メヂカルフレンド社	1987
6	産婦人科診療上の問題点	卵巣の腫大が著明でない卵巣癌の診断と治療の問題点	川越 厚、藪田 光紀、川名 尚	五十嵐正雄	216-221	診断と治療	1988
7	症例で学ぶ産婦人科学	子宮頸癌	川越 厚	水野正彦、桑原慶紀	196-198	中外医学社	1988
8	婦人科腫瘍学、治療原理と実際		川越 厚			中外医学社	1990
9	プリンシプル婦人科学 産科篇	妊娠定期検診	川越 厚	坂本正一、水野正彦	300-304	メヂカルフレンド社	1991
10	ホームヘルプサービスの課題とすすめ方,平成2年度中堅ホームヘルパー養成研修会講義録	生活を豊かにする在宅ケア	川越 厚	全国社会福祉協議会	226-244	全国社会福祉協議会・高年福祉部	1991
11	家庭で看取る癌患者-在宅ホスピス入門	わが国の在宅ターミナル概観 在宅で受け止める末期癌患者 在宅ホスピスケアとサポートシステム こうしたら在宅で看取れる こうしたら在宅で看取れる、実際の事例	川越 厚	川越 厚	1-13 20-29 51-64 111-152 172-181	メヂカルフレンド社	1991
12	家で死にたい-家族と看取った癌患者の記録-		川越 厚			保健同人社	1992
13	系統看護学講座 別巻10 ターミナルケア	在宅ターミナルケア	川越 厚	柏木 哲夫	195-213	医学書院	1992
14	老人訪問看護研修テキスト	急変時(緊急時)の看護 主治医との協力	川越 厚	厚生省大臣官房老人保健福祉部老人保健課 監修	207-215 299-304	日本看護協会出版会	1992
15	主婦日記	女性の体と体温”ひえ”	川越 厚			婦人之友社	1992
16	長寿社会のトータルケア,第11章 事例研究	都市型ライフケアシステム	川越 厚	佐藤 智、古瀬 徹	190-201	第一法規出版	1993
17	安らかな死-癌との闘い・在宅の記録		川越 厚			日本基督教団出版部	1994
18	妊娠から出産まで		川越 厚			婦人之友社	1994

3 単行本

SN	書名	執筆題名	著者	編者・監修	pp	出版社	出版年
19	在宅ケアを考える	在宅ホスピスの実践を通してー大学病院と在宅での末期がん患者ー	川越 厚	佐藤 智	164-183	日本評論社	1994
20	すべてのわざには時がある	松本美智子さんの残したもの	川越 厚	松本襄二	201-218	新教出版社	1994
21	がん告知を生きる		川越 厚他5名		108-130	日本基督教団出版局	1995
22	生と死のケア	家で死ぬということ	川越 厚	日野原重明、山本俊一	77-107	医学書院	1995
23	老人訪問看護研修テキスト	急変時(緊急時)の看護 主治医との協力	川越 厚	厚生省大臣官房老人保健福祉部老人保健課監修、老人訪問看護研修事業等検討会 監修	299-307 403-409	日本看護協会出版会	1995
24	悪化するがんの治療百科	「家で死にたい」患者の夢をかなえるには?在宅ホスピスケアのすすめ	川越 厚	幕内雅敏 監修	271-286	三省堂	1995
25	家庭の医学	終末医療	川越 厚	尾形悦郎、小林 登	769-775	主婦と生活社	1995
26	在宅中心静脈栄養法マニュアル	患者・介護者用ー在宅中心静脈栄養法マニュアル 医療者用ー在宅中心静脈栄養法マニュアル	在宅中心静脈栄養法 マニュアル等作成委員会	財団法人 総合健康推進財団 編 厚生省健康政策局・日本医師会 監修		文光堂	1995
27	在宅療養の手引きー在宅医療を行う人のためにー	在宅ターミナルケアについて	川越 厚	在宅療養の手引き等企画委員会 編 厚生省健康政策局・日本医師会 監修			
28	在宅ホスピス・ケア ガイドラインー医療者用ー		川越 厚	高齢者在宅療養普及・啓発委員会 ガイドライン作成分科会 編 厚生省健康政策局・日本医師会 監修		財団法人 総合健康推進財団	1996
29	在宅ホスピスケアを始める人のために		川越 厚	川越 厚		医学書院	1996
31	在宅療養の手引きー在宅医療を行う人のためにー	在宅ターミナルケアについて	川越 厚	在宅療養の手引き等企画委員会 編 厚生省健康政策局・日本医師会 監修	138-146	ミクス	1996
32	がんになったら考えること選ぶべきこと	自宅で死ぬということ	川越 厚	家庭画報編集部	220-229		1996
33	慢性疾患とQOLシリーズⅡ 老年病とQOL	癌患者の在宅ターミナルケアにおけるQOL	川越 厚	萩原 俊男	123-131	医薬ジャーナル社	1996

3 単行本

SN	書名	執筆題名	著者	編者・監修	pp	出版社	出版年
34	医療科学入門 その科学・アート・文化	病とは、癒とは-在宅ホスピスの考え方	川越 厚	的場 恒之	57-64	南江堂	1997
35	研修ノートNo.59 ターミナルケア(ホスピスケア)		川越 厚			日本母性保護産婦人科医会	1997
36	いのちとの対話 生と死の現場から		川越 厚			日本基督教団出版局	1997
37	アクティブ・デス		川越 厚			岩波書店	1997
38	死と信仰	医の倫理からみた人の生と死	川越 厚	ルーテル学院大学神学セミナー	27-49	キリスト教視聴覚センター	1997
39	遺された言葉		川越 厚他	川越 厚		日本基督教団出版局	1997
40	イエスをめぐって	治癒者イエス人間	川越 厚		77-114	日本基督教団出版局	1998
41	レペタン踊り-由利子の日記・在宅ホスピス実践の記録	川越厚 序文	林 ひろみ		2-5	詩画工房	1998
42	介護概論	第6節第5章 ターミナルケア	川越 厚	社会福祉士養成講座委員会	172-182		1999
43	生と死のケア	第7章 ホスピス運動とは	川越 厚	神田 健次	172-192	日本基督教団出版局	1999
44	生と死のはざままで		川越 厚			保健同人社	2001
45	ホームヘルパー養成研修テキスト		川越 厚	ホームヘルパー養成研修テキスト作成委員会		長寿開発センター	2001
46	ホームヘルパー養成研修テキスト		川越 厚	ホームヘルパー養成研修テキスト作成委員会		長寿開発センター	2002
47	改訂版 老年医学テキスト		川越 厚	日本老年医学会		メジカルビュー社	2002
48	系統看護学講座 別巻10 ターミナルケア		川越 厚	柏木 哲夫/藤腹 明子		医学書院	2003
49	社会福祉養成講座14 介護概論	第5章第3節 ターミナルケア	川越 厚	福祉士養成講座編集委員会	172-182	中央法規出版	2003
50	ホームヘルパー養成研修テキスト		川越 厚	ホームヘルパー養成研修テキスト作成委員会		長寿開発センター	2003
51	再発大腸癌ガイドブック	第VI章緩和医療 E.在宅ホスピス・緩和ケア	川越 厚	杉原健一	248-254	南江堂	2003
52	知っておきたいホスピスケア		川越 厚			主婦と生活社	2003
53	痛み臨床における鎮痛薬・オピオイドの選択	在宅ホスピス・緩和ケアにおける疼痛緩和の実際と問題点	川越 厚	鎮痛薬・オピオイドペプチド研究会	93-99	メディカルパブリケーションズ	2003

3 単行本

SN	書名	執筆題名	著者	編者・監修	pp	出版社	出版年
54	在宅ホスピス・緩和ケア 演習形式で学ぶケアの方針		川越 厚			メヂカルフレンド社	2003
55	ホスピス・緩和ケア白書2004年	V.わが国の在宅ホスピス・緩和ケア I. 診療所などによる在宅ケア	川越 厚	日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団「ホスピス・緩和ケア白書2004」編集委員会	82-85	(財)日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団	2004
56	ホームヘルパー養成研修テキスト		川越 厚	ホームヘルパー養成研修テキスト作成委員会		長寿開発センター	2004
57	新編百科 家庭の医学	終末期医療	川越 厚	主婦と生活社	785-796	主婦と生活社	2004
58	今日の治療指針2004年版	在宅での疼痛ケア	川越 厚	山口 徹、北原光夫	1074-1075	医学書院	2004
59	ホスピス・緩和ケア白書2005年	日本在宅ホスピス教会	川越 厚	(財)日本ホスピス協会「ホスピス・緩和ケア白書2005」	73-77	(財)日本ホスピス・緩和ケア研究振興財団	2005
60	家族を看とるとき	看とる家族を育てる…ホスピスから在宅へ 鼎談③	川越 厚	日野原重明	150-178	春秋社	2005
61	家で看取るということ		川越 厚・川越博美 共著			講談社	2005
62	家で生きることの意味ー在宅ホスピスを選択した人・支えた人		川越 厚 他	川越 厚・柳田 邦男 共編		青海社	2005
63	末期がんを「家」で看とってくれる医療機関 全国版		川越 厚			保健同人社	2006
64	TEXT BOOK 女性心身医学	ホスピス・緩和ケア	川越 厚	編:玉田 太朗, 本庄英雄, 日本女性心身医学会	316-324	永井書店	2006
65	麻薬・向精神薬・覚せい剤管理ハンドブック 第8版	麻薬管理マニュアルの改訂についての解説	川越 厚	財団法人 日本公定書協会 監修	192-197	(株)じほう	2007
66	ケアマネジャー実務入門「在宅ホスピス緩和ケア	基礎知識編(第1節 在宅緩和ケアの概要 第2節 がんの疫学, 疼痛管理)	川越 厚	特定非営利活動法人 シルバー総合研究所 編 井形昭弘・遠藤 英俊 監修	54-89	日総研出版	2007
67	介護概論 社会福祉士養成講座14	第5章介護技術各論 第3節ターミナルケア	川越 厚	社会福祉士養成講座編集委員会	199-213	中央法規出版	2008
68	明日の在宅医療 第3巻 在宅での看取りと緩和ケア	第2部 在宅で看取りと緩和ケアの実際 第9章 がんの在宅ホスピスケアの諸相	川越 厚	編:佐藤智、鈴木壮一、村松静子、平原佐斗司	152-175	中央法規出版	2008

3 単行本

SN	書名	執筆題名	著者	編者・監修	pp	出版社	出版年
69	在宅医療実践ガイドブック-多 分野融合型連携をめざして-	第三章終末期の支援 2.全人的緩和ケ ア 3.死の看取り	川越 厚	東京都福祉保健局医療 政策部医療政策課	264-276	東京都福祉保健局 医療政策部医療政	2008
70	患者力を強くしよう		川越 厚(指導・監	川越 厚		保健同人社	2010
71	介護職員基礎研修テキスト 第 2版	第7巻第7章第1節ターミナルケアの理 念と基本原則、第2節ターミナルケアの 実際、第3節在宅でのターミナルケアの	川越 厚	介護職員関係養成研修テ キスト作成委員会	273-310	長寿開発センター	2010
72	21世紀高野山医療フォーラム 「生と死」の21世紀宣言 Part4いま求められる学びと実	<語らい>実践をとおして死を学び、生 を共有する	川越 厚	柳田邦男 菽山祥光	242-250	青海社	2011
73	スピリチュアルケア講演集 心と魂の叫びに込めて6	在宅ホスピス医が現場から学んだスピリ チュアルな痛み	川越 厚他9名	特定非営利活動法人臨 床パストラル教育研究セ ンター	99-120	特定非営利活動法 人臨床パストラル教 育研究センター	2012
74	六訂 介護支援専門員基本テキ スト	第3巻 高齢者保健医療・福祉の基礎知 識 第15章 ターミナルケア	川越 厚	介護支援専門員テキスト 編集委員会	245-270	長寿社会開発セン ター	2012
75	今日の治療と看護 改訂第3版	がん性疼痛	川越 厚	総編集:永井良三・大田 健	68-70	南江堂	2013
76	がん患者の在宅ホスピスケア		川越 厚			医学書院	2013
77	スピリチュアルケアを学ぶ5 愛に基づくスピリチュアルケア	在宅ホスピスと医の原点	川越 厚	窪寺俊之		聖学院大学出版会	2014
78	創立50周年記念誌	最後の産科医師の会長として	川越 厚		121-122	全国助産師教育協 議会	2015
79	「無駄で危険な医療+治療 45」シリーズ vol.6 「終末医療」45のウソ 愛川欽 也はなぜ「在宅死」を選んだの	平穏な最期を迎えるためにすべきこと	川越 厚	EDGE編集部	102-105	双葉社	2015
80	ひとり、家で穏やかに死ぬ方法		川越 厚			主婦と生活社	2015
81	看取るあなたへ 終末期医療の 最前線で見たこと	日本人の”死の受容”の文化論的考察	川越 厚他19名		206-213	河出書房新社	2017
82	信仰生活ガイド 信じる生き方	変えることかてきないもの、変えなけれ ばならないもの 老いと死を支える知恵 と力	川越 厚他15名	増田 琴	94-101	日本基督教団出版 局	2021

4学会等発表(2001年以降)

SN	発表年月日	発表者	共同発表者	演題	学会	開催地
1	2001/11/17	川越 厚	松浦志のぶ	グループ・パリアンの一年を振り返って	第25回死の臨床研究会	仙台
2	2002/7/13	川越 厚	松浦志のぶ	在宅ホスピス・緩和ケア 実施医療機関情報の データベース化	日本在宅医療研究会学術集会	木更津
3	2003/11/24	川越 厚	松浦志のぶ	在宅ホスピス・緩和ケア相談外来の役割と働き	第26回死の臨床研究会	高崎
4	2003/3/6	川越 厚	松浦志のぶ	13 Years' Practice of Home Hospice Care in Tokyo - Various Types of Care Service Provision and their Achievements -	5th Asia Pacific Hospice Conference	大阪
5	2003/11/15	川越 厚	松浦志のぶ	在宅末期がん患者の疼痛緩和-フェンタニルパッチの有用性と問題点-	第27回死の臨床研究会	徳島
6	2004/11/28	川越 厚	松浦志のぶ	当院における 相談外来受診から 在宅ホスピス・緩和ケア開始までの 待ち時間の検討	第28回死の臨床研究会	つくば
7	2008/7/26	川越 厚	松浦志のぶ、染谷康子、大金ひろみ	ケア期間からみた在宅ホスピスケアの問題-短期間(7日間)で終了する、末期がん患者の在宅ケア-	第19回日本在宅医療学会学術集会	千葉市
8	2008/7/26	川越 厚	松浦志のぶ	モルヒネ持続クモ膜下注入による疼痛緩和-在宅で疼痛緩和を行った症例の報告-	第19回日本在宅医療学会学術集会	千葉市
9	2009/6/27	川越 厚		シンポジウム 在宅での疼痛緩和の現状と課題	第20回日本在宅医療学術集会	横浜市
10	2009/6/27	田實武弥	松浦志のぶ、川越博美、川越厚	肺がん患者の在宅ホスピス緩和ケア	第20回日本在宅医療学術集会	横浜市
11	2010/6/13	川越 厚	松浦志のぶ	血液がん患者の在宅ホスピス・緩和ケア	第21回日本在宅医療学術集会	江東区
12	2010/6/18	川越 厚	Zeri Kenneth, Paul Julie, 川越博美、櫻井雅代、吉野貴子、松浦志のぶ、大金博美、内田千佳子	在宅ホスピス緩和ケアにおけるボランティアの育成と役割に関する国際比較研究	第15回日本緩和医療学会学術大会	千代田区
13	2010/11/6	川越 厚	Zeri Kenneth, Paul Julie	地域緩和ケアシステムにおける在宅ホスピスボランティアの育成と役割に関する国際比較研究	第17回ヘルスリサーチフォーラム	千代田区
14	2011/6/25	西田茂史	西田茂史、松浦志のぶ、川越厚	泌尿器科がんの在宅ホスピス緩和ケア	第22回日本在宅医療学術集会	名古屋市
15	2011/6/25	川越 厚	川越 厚、松浦志のぶ、西田茂史	婦人科がんの在宅ホスピス緩和ケア	第22回日本在宅医療学術集会	名古屋市

4学会等発表(2001年以降)

SN	発表年月日	発表者	共同発表者	演題	学会	開催地
16	2011/10/1	八塚麻紀	Maki Hachizuka, Kazuhiro Yoshiuchi, Hiroe Kikuchi, Yoshiharu Yamamoto, Satoru Iwase, Keiichi Nakagawa, Koh Kawagoe, Akira Akabayashi	Associations between pain and psychosocial factors using a computerized ecological momentary assessment technique in home hospice cancer patients	13th World Congress of Psycho-Oncology (The International Psycho-Oncology Society)	Antaiya, Turkey
17	2012/10/3	Maeda K.	Kushida K, Kawagoe K	Engagement as pharmacies in home palliative care - Collaboration with physicians, nurses, and other medical professionals and assessment of Collaborative Drug Therapy Management (CDTM) in Japan-	FIP Centennial Congress of Pharmacy and Pharmaceutical Sciences,	Amsterdam, The Netherlands
18	2013/5/18	前田桂吾	串田一樹、白石丈也、賢見卓也、西川満則、川越 厚	医療用麻薬に関する在宅緩和ケア医と保険薬局のギャップについて～在宅緩和ケア医及び薬局へのアンケート調査より～	第24回日本在宅医療学会学術集会	大阪市
19	2013/6/21	前田桂吾	串田一樹、白石丈也、賢見卓也、西川満則、川越 厚	在宅緩和ケア対応薬局のネットワーク化と情報提供	第18回日本緩和医療学会学術大会	横浜市
20	2013/9/15	前田桂吾	串田一樹、白石丈也、賢見卓也、西川満則、川越 厚	在宅緩和ケア専門薬局(PCP)に必要な機能について～在宅緩和ケア医へのアンケート調査より～	第7回日本緩和医療薬学会年会	千葉市
21	2013/10/11	K. Kawagoe	S. Matsuura, I. Kawagoe	Home Hospice Care. Whay at Home?	10th Asia Pacific Hospice Conference	Bangkok
22	2013/11/5	賢見卓也	山口聖子、川越 厚	社会的苦痛(特に経済的苦痛)に特化した専門家チーム(看護師・FP・社労士・税理士・弁護士)の取組み	第37回死の臨床研究会年次大会	松江市
23	2016/10/8	田伏弘行	川越 厚	若年者の末期がん患者における在宅緩和ケアの特徴	第40回死の臨床研究会年次大会	札幌市
24	2018/12/8	村川 奨	川越 厚	認知症を有するがん患者の症状緩和—在宅で看取った2事例の比較検討	第42回死の臨床研究会年次大会	新潟市

5助成研究(2001年以降)

SN	開始日	終了日	研究代表者	共同研究者	テーマ	助成元
1	2001/4/1	2006/3/31	川越 厚	蘆野芳和、井田栄一、伊藤達朗、角田直枝、加藤恒夫、斎藤恵子、酒井忠昭、末永和之、鈴木信行、野村良彦、馬庭恭子、松浦志のぶ	在宅ホスピスケア実施医療機関のネットワーク化と情報提供	笹川医学医療研究財団
2	2005/4/1	2008/3/31	川越 厚	岡部 健、矢野栄二、瀬戸山修、下山直人、平林勝政、福井小紀子、阿部郷子、柏木聖代(H17)、山田雅子(H18, H19)	在宅療養者の看取りにおける訪問看護師と医師との連携に関する研究	厚生労働省 科学研究
3	2008/11/1	2009/10/31	川越 厚	Kenneth Zeri, Julie Paul, 川越博美	地域緩和ケアシステムにおける、在宅ホスピスボランティアの育成と役割に関する国際比較研究 副題:わが国の歴史・文化・風土の中で育むべき在宅ホスピスボランティア組織に関する研究	ファイザーヘルスリサーチ振興財団 国際共同研究助成